令和元年 9 月 9 日（月曜日）

美里町議会全員協議会会議録

美里町議会全員協議会

令和元年9月9日(月曜日)

出席議員(16名)

1番	吉田真悦君	2番	鈴木宏通君
3番	村松秀雄君	4番	吉田二郎君
5番	平吹俊雄君	6番	手島牧世君
7番	佐野善弘君	8番	藤田洋一君
9番	山岸三男君	10番	柳田政喜君
11番	前原吉宏君	12番	櫻井功紀君
13番	福田淑子君	14番	千葉一男君
15番	我妻薫君	16番	大橋昭太郎君

欠席議員(なし)

説明のため出席した者

町長部局

町長	相澤清一君
副町長	須田政好君
総務課長	佐々木義則君
総務課課長補佐	遠山薫君
子ども家庭課長	今野正祐君
子ども家庭課主事	伊藤智昭君
まちづくり推進課長	齋藤寿君
まちづくり推進課課長補佐	高橋憲彦君

議会事務局職員出席者

議会事務局長	佐藤俊幸君
事務局次長兼議事調査係長	高橋美樹君

議事日程

令和元年9月9日(月曜日) 午後1時27分開会

第1 開 会

第2 議長挨拶

第3 説明及び意見を求める事項

- 1) 美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金について
- 2) 美里町スポーツ施設の指定管理者候補者の選定状況について
- 3) 美里町スイミングセンターの指定管理者候補者の選定状況について

第4 その他

第5 閉 会

午後 1 時 27 分 開会

議長（大橋昭太郎君） 午前中の特別委員会、大変御苦労さまでした。

ただいまから全員協議会を開きます。

本日、町長からの説明及び意見を求める事項は 3 件です。

どうぞスムーズに全員協議会が進められるようよろしくお願いします。

本日の全員協議会は全員出席です。ただいまから会議を始めます。

まず最初に町長から挨拶をお願いいたします。

町長（相澤清一君） 議会、大変御苦労さまでございます。

台風15号も大分抜けたようですので、今のところ町に対して被害報告は入っておりません、大丈夫だったのかなと安堵しているところでございます。

本日は、議長のお取り計らいにより議会全員協議会を開催していただき、厚く御礼申し上げます。

本日全員協議会で御説明申し上げますのは、1 点目は美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金について。2 点目は、美里町スポーツ施設の指定管理者候補者の選定状況について。3 点目は、美里町スイミングセンターの指定管理者候補者の選定状況についてであります。

初めに、1 点目の美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金について御説明申し上げます。

現在、認可外保育施設に入所する 3 歳未満児については保護者の経済的負担の低減を図るため、月額 1 万円を認可外保育施設入所助成事業補助金として交付しております。本年 10 月 1 日から実施されます幼児教育保育の無償化においては、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、子育てのための施設等利用給付が創設され、認可外保育施設に通所する 3 歳未満児のうち、住民税非課税世帯の児童については月額 4 万 2,000 円を上限に利用料の無償化の措置がとられることとなりました。

このことから、認可外保育施設入所助成事業補助金の目的としておりました保護者の経済的負担の軽減が図られることから、当該補助金の交付の対象から除くこととするものであります。本日、その内容について御説明申し上げますのでございます。詳細については、後ほど子ども家庭課長から御説明するものであります。

次に、2 点目の美里町スポーツ施設の指定管理者候補者の選定状況について御説明申し上げます。

現在、美里町スイミングセンターを除く町内の各スポーツ施設 8 施設を管理している指定管理者の指定期間が、令和 2 年 3 月 31 日をもって終了します。終了後に受ける指定管理者の候補者を選定したことから、その内容及び選定経過について説明するものです。詳細につきましては、後ほどまちづくり推進課長及び総務課長から御説明申し上げます。

次に、3 点目の美里町スイミングセンターの指定管理者の候補者の選定状況について御説明申し上げます。

現在、美里町スイミングセンターを管理している指定管理者の指定の期間が令和 2 年 3 月 31 日をもって終了します。終了後における指定管理者の候補者を選定したことから、その内容及び選定経過について御説明申し上げます。詳細につきましては、後ほどまちづくり推進課長及び総務課長から御説明申し上げます。

議員皆様の御理解を賜りまして、よろしくお願いを申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） ありがとうございます。

それでは早速、3 番説明及び意見を求める事項 1) 美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金についてに入ります。総務課長、お願いします。

総務課長（佐々木義則君） 御苦労さまでございます。本日も御指導よろしくお願ひ申し上げます。

美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金についての説明員を紹介させていただきます。子ども家庭課長の今野でございます。

子ども家庭課長（今野正祐君） 子ども家庭課の今野でございます。よろしくお願ひいたします。

総務課長（佐々木義則君） 同じく、子ども家庭課主事の伊藤でございます。

子ども家庭課長主事（伊藤智昭君） 伊藤です。よろしくお願ひいたします。

総務課長（佐々木義則君） それでは、早速子ども家庭課から御説明申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） 子ども家庭課長。

子ども家庭課長（今野正祐君） 改めまして、子ども家庭課長の今野と申します。よろしくお願ひいたします。

ただいま、町長より説明ございましたが、本日全員協議会で御説明いたしますのは美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金についてでございます。

来月 10 月 1 日より幼児教育保育の無償化が実施されることに伴い、認可外保育施設を利用する非課税世帯の 3 歳未満児について、4 万 2,000 円を上限に保育料が無償化されることから、美

里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金交付要綱の一部を改正することにいたしましたので、その内容を議員皆様に御説明させていただきます。

それでは、資料内容説明につきましては、子ども家庭課伊藤から御説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） 伊藤主事。

子ども家庭課長主事（伊藤智昭君） それでは、美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金について、私から御説明させていただきます。

先ほど、町長また子ども家庭課長から御説明させていただいておりますとおり、これまで美里町では認可外保育施設に入所しているゼロ歳児から2歳児の保護者に対し、経済的負担を軽減するために、一律に認可外保育施設入所助成事業補助金として月額1万円を交付してまいりました。

しかし、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律その他関係法令がことし10月から施行され、教育、保育の無償化が始まることに伴いまして、ゼロ歳児から2歳児であっても非課税世帯には月額4万2,000円の保育料が無償化の対象になることとなりました。このことによりまして、非課税世帯であるゼロ歳児から2歳児、無償化の対象の保護者につきましては、経済的負担の軽減が大きく図られるものと考えことから、ゼロ歳児から2歳児のうち非課税世帯の児童を認可外保育施設入所助成事業補助金の交付の対象から除くこととするものであります。

なお、課税世帯でありますゼロ歳児から2歳児までの児童の保護者に対しましては、これまでどおり認可外保育施設入所助成事業補助金を継続して交付することといたします。

また、その他条文中の適正でない字句についてもあわせて改正するものでございます。こちらの適正でない部分としましては、今現在の対象児童といたしまして、本来の趣旨であればゼロ歳児から2歳児クラスまでの児童というところではありますが、年度途中で保育施設に入所した場合、入所した日の属する月ですね、初日に既にもう3歳になっているのであれば、その対象から除くと。2歳児クラスであっても（「説明は定めた要綱の字句を直すと言わないと」の声あり）済みません。定める要綱の字句について、済みません、訂正申し上げます。字句について改めさせていただくものでございます。

続きまして、主な関係法令につきましては、こちらが保育料の無償化に関する要綱の改正となりますので、そちらの無償化に関する法令となっております。子ども・子育て支援法の一部を改正する法律、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備等及び経過措置に関する政令、子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令、特定

教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令、こちら4つが主な関係法令となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

議長（大橋昭太郎君） ただいま、美里町認可外保育施設入所児童の保護者に対する助成金について説明をいただきました。皆様から意見、質問等何かありませんか。（「ありません」の声あり）

ないようですので、1）は終了させていただきます。（「ありがとうございました」の声あり）

それでは、次に2）美里町スポーツ施設の指定管理者候補者選定の状況について入ります。それでは、総務課長。

総務課長（佐々木義則君） それでは、2番目の議題にあります美里町スポーツ施設の指定管理者候補者の選定状況についての説明をさせていただきます。

ここに、まちづくり推進課長の齋藤でございます。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 齋藤でございます。よろしくお願ひします。

総務課長（佐々木義則君） 同じく、まちづくり推進課課長補佐の高橋でございます。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） 高橋です。よろしくお願ひします。

総務課長（佐々木義則君） 次に、総務課課長補佐の遠山でございます。

総務課課長補佐（遠山 薫君） 遠山でございます。よろしくお願ひします。

総務課長（佐々木義則君） 最後に、私、総務課長の佐々木でございます。よろしくお願ひいたします。

それでは、初めにまちづくり推進課長から御説明申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） よろしくお願ひいたします。

それでは、まちづくり推進課から美里町スポーツ施設の指定管理者候補者の選定状況についてということで御説明させていただきます。

まず初めに、今回スポーツ施設の指定管理者を公募で選定するに至ったことについて、御説明させていただきたいと思ひます。

昨今、県内はもちろん全国の地方公共団体におきましても、スポーツ施設の指定管理者制度につきましても一般的なものとなってきてございます。また、民間事業者による指定管理者も数多く存在しております。

本町におきましては御承知のとおり、平成24年度以降、特定非営利活動法人美里町体育協会が町内のスポーツ施設9施設を一括して2期8年間、指定管理者として管理運営を行ってまいりました。これまでの期間、美里町体育協会におきましては、地域のスポーツ関係団体の支援や発展に寄与していたところはもちろんでございますが、町のスポーツ施設の管理運営におきましても、大きな事故もなく一定の成果を上げていただいたと認識してございます。

今年度、現在の指定管理期間の最終年度となっており、検討を重ねる上で町といたしましてもこれまで美里町体育協会が行ってきた施設運営の水準以上を維持しながら、またそれと同時に周辺の体育施設の指定管理者の状況を拝見しますと、民間事業者による運営については時代に合った柔軟なアイデアを持って効果的に行われるように聞き及んでおります。

ここで、町といたしましても次の指定管理者となる候補者につきましては、これまでの非公募での候補者選定ではなく、公募によって民間事業者等の提案を広く募りましてやらせていただきたいと考えていたところでございます。

なお、スイミングセンターにつきましては、この後別件として御説明させていただきますが、ほかのスポーツ施設とは違って大量の水を使う、何か事故があれば利用者の生命に直結するような施設であるということから、施設の運営、維持管理等におきましてより高い専門的な知識、ノウハウが必要であると判断させていただいたことから、ほかのスポーツ施設とは別に、分けて公募させていただいたところではございます。

それでは、お配りしている資料に基づきまして、選定状況について御説明させていただきたいと思っております。1つ目の概要につきましては、町長から御説明がありましたので省略させていただきますが、2つ目の経過から説明をさせていただきたいと思っております。

令和元年6月17日、指定管理者候補者選定委員会で諮問を行いまして、第1回目の指定管理者候補者選定委員会を開催していただいております。6月21日から公募を開始いたしまして、6月27日現地説明会及び現地見学会を開催いたしました。その際、3社にお集まりいただいております。7月17日に応募の受け付けを終了し、1社から応募がございました。7月29日、第2回目の指定管理者の候補者選定委員会を開催していただきまして、その中で応募者から事業内容についてのプレゼンをいただいたところでございます。7月31日に指定管理者候補者選定委員会から答申をいただき、8月6日、指定管理者の候補者として町の選定を決定したところでございます。9月2日に管理運営に関する候補者との基本項目の協議が終了いたしましたところでございます。

次に、今後の3の予定でございますが、指定管理者の選定については地方自治法第244条の2

第6項及び美里町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条第1項の規定に基づき、美里町議会9月会議に追加で提案をさせていただき予定でございますので、よろしくお願い申し上げます。

また、指定管理者の指定とあわせ、指定管理料、債務負担行為が伴う5年間ということになりますので、こちらにつきましても一般会計の補正予算の追加で提案をさせていただき予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

そのほか、4番に資料がございますが、資料1、2につきまして、この後担当の高橋から説明をさせていただきます。

議長（大橋昭太郎君） 高橋課長補佐。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） それでは、私から資料1、美里町スポーツ施設指定管理者公募要項並びに資料2美里町スポーツ施設指定管理者業務の基準というところの2つの資料について説明させていただきます。座って説明させていただきます。

それでは、まず資料1からごらんいただきたいと思います。

4ページ目になります。はじめにということで、美里町スポーツ施設及び野外活動施設、今回スポーツ施設と一くりにさせていただきましたが、こちらの指定管理につきましては先ほど課長からもお話があったとおり、美里町の体育協会にこれまで取り組んでいただいていたところでございますが、今回指定管理者制度を活用させていただいて民間事業者等に御提案いただくということで、こちらに記載させていただいております。

1につきましては、指定管理者制度の趣旨について地方自治法の条文を引用させていただいています。2として、公募の概要ということで、今回スポーツ施設として提案いただく施設、全部で8施設、こちらを記載させていただいています。公募要項につきまして資料が大分多くなっておりますので、重立ったところ、かいつまんで説明させていただきたいと思います。

5ページ目に移りますが、(3)として指定期間ということで、今回は令和2年4月1日から令和7年3月31日まで5年間ということで、指定期間を指定させていただきました。

6ページ目になりますと、3項目めとして指定管理者の行う業務ということで、(1)から(3)まで主に指定管理者の行う業務ということで、一般的な項目を整理させていただいております。

4といたしまして、指定管理料及び職員配置等ということで、職員配置についてと指定管理業務について記載しておりますが、この指定管理料につきましては、これまでスポーツ施設の指定管理料と同じような考え方でさせていただいております。過去5年間の実績を上限とする

指定管理料を支払うということで、一応町の基本的な考え方を示させていただきました。

最後に、次の7ページですね、参考までということで過去5年間指定管理料の実績値、これは今回対象となります8施設の合計額ということで、参考値として示させていただいております。(3)にはこれまで利用料金収入ということで、利用料金収入については指定管理者の管理運営費に充てていただくということになりますが、これまで5年間の実績値になりますが、参考として載せさせていただいております。

5番目の項目としましてリスク分担ということで、指定管理において想定されるリスクの種類ということで、一覧表にまとめさせていただいております。こちらのリスクの種類に応じて、負担が誰になるのかということが不明確になってしまうと困りますので、事前に公募の段階で町としての考え方をこの表でお示しして、提案をいただくということでまとめております。

なお、この中で、中段より若干下なんですけど、8ページ目になりますが、施設等の損傷という項目がございます。こちらの部分で指定管理者が負担者となりますけれども、各施設において何か施設の修繕等が必要になった場合、20万円を上限に年間60万円の施設等の損傷についての修繕については、指定管理者で見たいということで、このような表示になっております。

続きまして、9ページ目になります。6番の項目といたしまして、公募に関する事項ということで(1)公募スケジュールということで先ほど課長が説明したとおり、このような日程になっておりますということで示しております。

10ページ目、7項目めになります。応募に関する事項ということで応募書類の受け付けは6月21日から7月19日ということで約1カ月の期間を指定させていただきました。

続いて、11ページ目になりますが、(2)応募者の資格であったり、(3)欠格事項といったものも示させていただきまして、(4)応募の形態というところで株式会社、単独企業はもちろんですけれども、特別目的会社ということで今回の場合に該当しますが、そういったものであったりNPO法人、その他法人のほか、任意団体も応募することが可能ですよということを述べさせていただいております。

12ページになりますが、応募書類として(5)に記載しております。今回後ほど資料5ということでお示しさせていただいておりますが、今回の提案書につきましてこの項目で示させていただいております。

13ページになりますけれども、この提出をいただく提案書の作成項目ということで事前にお示しさせていただいております。1の基本方針から2の事業計画、3の管理認定、4の収支計画、

5の実施提案、6の指定管理の実績、7の立ち上げ体制、8の指定管理料、全部で8項目について提案書に記載していただくということでお願いをさせていただきます。

続きまして、16ページに移ります。

8番目の項目になりますが、審査・選定に関する事項ということで審査方法ということで今回は提出していただいた提案書の内容並びにプレゼンテーションを、14ページですね、済みません。14ページでございました。8番目の項目です。

審査・選定に関する事項ということで審査方法が掲載させていただいております。こちらで今回提出していただいた提案書の中身、それとプレゼンテーション、その後にヒアリングさせていただいて、こちらの選定委員会で選定させていただくという流れになっています。

(2)に次点候補者、第3順位ということでこちらについて記載させていただきますが、万が一指定管理者の候補者に選定された団体が辞退等になった場合、次点候補者に選ばれた方もしくは第3順位の候補者の順で繰り上がりで、指定管理者の候補者となりますということで記載しております。(3)の選定評価基準についてということで事前にお示ししております。こちらは今回の選定については200点満点ということでさせていただいております、そのうち最低基準を100点ということになります。100点以上をとっていただかなかった場合については、どの提案も選べないという形にさせていただいております。

続きまして、15ページになります。9番の項目といたしまして、協定及び準備に関する事項ということで、(1)の協定の締結、こちらにつきましては選定委員会による審査及び選定後、町で指定管理者と細部について協議を行いまして、町議会の議決を経て指定管理者として指定された後に基本協定を締結しますという流れになっています。

同じページの10番目の項目になります。留意事項として(1)個人情報保護に関して特に留意すべき事項から17ページの(11)その他まで、一般的な留意事項を記載させていただいております。

17ページの11項目め、その他ということで(1)に事業の経過が困難となった場合の措置ということで、ア、イと記載させていただきます。アでは指定管理者の責めに帰すべき事由による場合。イについては指定管理者の責めに帰することができない事由による場合ということで2つの項目を述べさせていただきます。(2)といたしまして、指定管理者候補者の変更ということで記載させていただきます。万が一、指定管理者を変更するということが生じた場合を記載させていただきます。そういう場合には先ほどもお話ししましたが、次点候補者または第3順位の候補者と協議を行って、再度議事に提案をしたいと思っております。

18ページになります。(3)として指定取り消し及び管理業務の停止ということで、項目を記載してございます。こちらにつきましては、施設管理の適正を期するために町の指示に従わないとき、あとは管理を継続することが適当でない認められるときにつきましては、指定管理者の指定を取り消しますよということが記載してございます。

19ページには、今回の公募要項に記載させていただきました資料として1から5まで掲載してございますが、今回につきましては(1)で示させていただいております美里町スポーツ施設指定管理者業務の基準ということで、資料2として今回今回の資料に添付させていただいております。(2)の美里町スポーツ施設指定管理者選定評価基準につきましては、本日の資料の(3)ということでお示ししております。

資料1につきましては、以上でございます。

引き続き、資料2の説明をさせていただきたいと思います。資料2、美里町スポーツ施設指定管理者業務の基準ということで、こちらで作成しておりますが、こちらにつきましては、今回スポーツ施設8施設でございます。この8施設に共通する業務ということで、まずもって業務の基準にまとめさせていただいて、その後に各施設ごとの細かい業務の仕様書ということで、つけさせていただいております。

業務基準の1ページをお開きいただきたいと思います。

第1の趣旨として、各美里町スポーツ施設条例と条例規則との定めにより指定管理者が行う業務について示すものですということで、表示してございます。第2の管理運営の基本方針として、公の施設の公平、公正な運営を行うことということで第1項目についてありますが、7項目の個人情報の保護を徹底することということまで、こちらのほう、指定管理が行う基本方針ということで、全ての指定管理の方々に守っていただきたい部分であります。第3に指定期間ということで、重複となりますが、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間ということです。第4には、指定管理施設の8施設の名称、所在、主な施設等仕様書が書いてございます。

4ページに飛びます。第5ということで休館日及び利用時間ということに記載してございますが、こちらは条例で記載されているとおりの内容でございます。

5ページ目、第6という項目がございます。指定管理者が行う業務ということでこちらに列記させていただいておりますが、詳細につきましては別紙の各施設の業務仕様書ということで、別に掲載させていただきますということで、こちらに示してございます。

大まかな項目として1項目め、施設の利用に関する業務、2項目めとして6ページになりま

すが、本業務についての自己評価及び実績評価、7ページ目になりますが、3項目めといたしましてその他設置の目的を達成するために必要な事業に関する業務ということで大きく3つに分かれて記載してございます。

続いて、第7項目めになりますが、指定管理料ということで、先ほどお示ししました公募要項にも載せております指定管理料、補足して説明をさせていただいております。第8といたしまして、財産の帰属ということで、町が取得した財産は町の所有に帰属し、指定管理者に無償で貸与するということが第1番目に記載しております。第2番目として、指定管理者が今回の指定管理期間中に自己の財源によって取得した財産につきましては、指定管理者の所有に属するということも記載しております。第9、職員体制ということで記載してございます。基本的には、各施設ごとに職員の配置について仕様書でうたっておりますが、今回の8施設を統括責任者ということで、1人配置することをこちらで明記しております。

8ページになりますが、第10項目め、業務用車両を使用する場合の対応ということで記載しております。また、第11項目めには防災対策、緊急時の対応ということで記載してございます。

9ページ目になりますが、第12項目として情報公開の基本的な考え方をお示ししております。町と同等の情報公開をお願いするというものになっております。第13には個人情報の保護ということで、こちらについても適切に保護していただきたいということです。第14といたしまして、賠償責任と保険加入ということがございます。万が一、何かあった場合のために、町としてももちろん責任はございますが、施設の管理者としてもそれ相応の責任が発生するかと思われまので、損害賠償保険等の加入を義務づけております。

以下、先ほどお話ししたとおり、美里町トレーニングセンター指定管理業務仕様書と続いてありますが、その後南郷体育館、素山野球場及び南郷球場、牛飼テニスコート及び南郷テニスコート、南郷運動場、最後に野外活動施設の指定管理運営業務仕様書という形で業務の基準として事前にお示しして、各事業者から提案をいただいたという流れになってございます。

資料1と2につきましては以上でございます。

議長（大橋昭太郎君） 総務課長。

総務課長（佐々木義則君） それでは、引き続きまして総務課から資料3の選定評価基準、資料4のスポーツ施設の指定管理候補者の選定について、答申の部分を御説明させていただきたいと思います。

今説明あったとおり、資料1、2、これらを受けまして美里町指定管理者候補者選定委員会を開催いたしまして、公募要項、業務の基準、そしてこれから説明します選定評価基準等の内

内容を審議いただきまして、その後2回目の選定委員会を開催しまして、いわゆる公募書類、提案書等の審査、それから応募者によるプレゼンテーション、ヒアリング等を実施いたしまして、審査をいただいたところでございます。この審査いただいた部分については、答申に沿った形になってございますが、詳しい内容につきましては遠山課長補佐から説明を申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） 遠山課長補佐。

総務課課長補佐（遠山 薫君） 総務課の遠山と申します。よろしく申し上げます。座らせて説明させていただきます。

私から、資料3、美里町スポーツ施設指定管理者選定評価基準を御説明させていただきます。

まず初めに、内容評価の部分でございますが、こちら配点が150点となっております。

1といたしまして基本方針、施設管理運営の基本的な考え方、2といたしまして施設管理運営の年間の目標と推進方策。大きい2番目といたしまして事業計画（1）計画的な事業展開について。（2）利用者サービスの向上について。（3）地域や他機関、事業所等の連携について。大きい3番目、管理運営でございます（1）運営体制に関する基本的な考え方について。（2）施設の維持管理について。（3）モニタリングの実施について。大きい4番目でございます。収支計画（1）収支計画について。大きい5番目でございます。自主提案について。大きい6番目でございます。指定管理の実績でございます。大きい7番目、立ち上げ体制。（1）といたしまして業務体制でございます。大きい8番目、プレゼンテーション能力。（1）といたしましてプレゼンテーション能力でございます。

続きまして、価格評価の部分にいきます。

大きい9番目、指定管理料でございます。こちら価格評価といたしまして、配点を50点といたしております。先ほどの内容評価の150点と、今申し上げました価格評価50点を足し、総計で合計200点で評価満点とさせていただきます。

私から、資料3の説明について以上でございます。

続きまして、資料4、美里町スポーツ施設指定管理者候補者選定について御説明をさせていただきます。

第1、審査概要でございます。審査日時及び開催場所でございます。令和元年7月29日、場所については美里町役場本庁舎3階大会議室でございます。

2、美里町指定管理者候補者選定委員会委員、会長佐々木秀之様、副会長鈴木絢子様、委員柴田 修様、委員鈴木秀総様、委員武中則夫様の5名で実施しております。

3、公募の概要及び申請状況については、先ほどまちづくり推進課さんから御説明いただい

たので割愛させていただきます。(3) 応募者でございます。応募団体が特定非営利活動法人美里町体育協会・株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同事業体でございます。

4、審査経過でございます。令和元年6月17日に第1回美里町指定管理者候補者選定委員会を開き、町長より諮問を受けた内容について審査を行っております。その内容につきましては、(2) 公募概要及び審査基準の確認をしていただいております。3、審査でございます。令和元年7月29日、第2回美里町指定管理者候補者選定委員会を開催しております。応募者から提出された応募書類の審査及び応募者によるプレゼンテーションを行い、個別にヒアリングを実施し審査を行っていただいております。

第2、審査の方法及び結果でございます。1、審査の方法、応募書類及び応募者によるプレゼンテーションの審査を行い、各委員が選定評価基準(200満点)に基づき採点を行っております。(2) 各委員の採点を合計し、平均値を算出したしております。(3) 各委員の平均値が最低基準100点を上回りかつ最上位の応募者を指定管理者候補者として選定いたしております。審査事項については、先ほど私が御説明させていただいた資料3のところで御説明をさせていただいているので、割愛させていただきます。

2、審査結果でございます。今回、1団体応募いただいております。応募者特定非営利活動法人美里町体育協会・株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同事業体の得点が117.8点でございます。得点順位といたしまして1位でございます。

指定管理者候補者の選定でございます。応募書類及び応募者によるプレゼンテーションの審査の結果、200点を満点とし、最低基準100点を上回りかつ最上位となった特定非営利活動法人美里町体育協会・株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同事業体を指定管理者候補者として選定いたしました。

第3、総評でございます。美里町スポーツ施設はスポーツの振興及び普及を図り、もって町民の健康増進とコミュニティー活動の推進を目的とした施設であり、指定管理者には設置目的を実現するための事業を実施していくことが求められる。指定管理者候補者の選定を行うに当たっては、スポーツ振興及び普及が図られる提案がなされているかが重要となる。美里町スポーツ施設指定管理者候補者の公募に対し、1団体から応募があり、審査においては本施設の基本方針や事業計画、管理運営、収支計画等の評価項目から審査を行い、指定管理者候補者を選定した。指定管理者候補者である特定非営利活動法人美里町体育協会・株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同事業体は、8年間の美里町スポーツ施設

の運営と事業展開の経験を有する特定非営利活動法人美里町体育協会と国営公園の運営維持管理業務や運動公園、総合公園など公園施設を中心に指定管理業務経験を有し、現在美里町交流の森・交流館の指定管理者である株式会社オリエンタルコンサルタンツの2社で構成する共同事業体である。

同団体の提案に対する評価は次のとおりである。

基本方針については、本施設の現状と課題及び美里町の施策推進を踏まえた管理運営の基本的方針を示し、その内容は経営、利用者サービス、維持管理、スポーツ振興を柱としたものであり、指定管理期間中の目標実現のための推進方策も具体的な提案がなされている。

事業計画については、スポーツ施設を取り巻く今日的な課題や地域の特色、利用者ニーズ等を踏まえた計画がされており、自主事業の展開手法についても明確に示されている。また、地域、他機関、事業所等の連携についても具体的な実施策の内容が提案されている。

管理運営については、これまでの実績とノウハウを最も効果的に発揮できるよう特定非営利活動法人美里町体育協会が管理運営し、企画・広報を株式会社オリエンタルコンサルタンツが担うなど、効率的かつ安定的な管理運営体制を構築する内容が提案されている。

指定管理の実績等については、スポーツ少年団を初め、近隣市町との連携、調整を行う運営事務は、特定非営利活動法人美里町体育協会が8年前から一手に引き受けて事業運営を行っており、また各種スポーツ団体が協力し、町のスポーツ振興に寄与した実績は十分と考える。

以上のことから、特定非営利活動法人美里町体育協会・株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同事業体を美里町スポーツ施設の指定管理者候補者として選定した。

最後に、8年間の指定管理施設の運営と事業展開の経験を有する特定非営利活動法人美里町体育協会と、民間のノウハウ及びコスト感覚を持つ株式会社オリエンタルコンサルタンツがともに連携し指定管理者制度の目的が達成されるよう、また美里町スポーツ施設のよりよい活用を実施していただくよう申し添える。

以上で、私からの御説明を終わります。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 続きまして、資料が大変多くて申しわけございませんが、提案をいただいた提案書のプレゼンの際に使われました資料でございます。これにつきまして担当から説明いたします。

議長（大橋昭太郎君） 課長補佐。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） 私から資料5につきまして説明させていただきたいと思います。座って説明させていただきます。

ただいま、課長からもお話があったとおり、今回資料5として提出させていただいたものは選定委員会の際、提案者から提出いただいたプレゼンテーションの際の資料ということでございます。1ページに2ページ分のものが印刷されてございます。御了承いただきたいと思います。

まず、目次をごらんいただきますと、先ほどこちらで説明させていただいた提案書に記載いただきたい事項ということで8つの項目が記載されているかと思えます。この項目に沿って資料がつくられているということになってございます。めくっていただきまして2ページ目、基本方針から現状と課題ということで、美里町の人口減少傾向と65歳以上の人口増加傾向というところが示されておりまして、さらには利用料と減免利用料の割合ということで、提案者から町の施設ということで減免の対象者になる方が、ある程度こちらに示させていただいておりますが、トレーニングセンターでは41%、南郷体育館では28ページの減免の方がいらっしゃるという内容の資料を示させていただいております。3ページ目の下のほう、1の3というところで管理運営の基本方針ということで、本施設の役割から町の方針、その他の役割ということで記載してございまして、管理運営上の課題はこういったものが考えられるということが示されております。

それを踏まえまして4ページ目になりますが、上の段、管理運営の基本方針ということで4つの項目がまとめられております。1として運営、収支の管理及び経費削減への取り組み、人材、 として利用者サービスとして利用者満足度の向上、3として維持管理、予防保全による長期的な維持管理、4が地域振興、各種団体、関係機関及び事業者との連携ということで、大きく4つが示されております。その後、各項目ごとにそれぞれの具体的な内容が記載されてございます。

5ページ目、下の段に移りますが、目標についてということで示されております。大まかには5年間で利用者数を今の1.1倍にするという目標を立てられております。それに伴って、利用料金も同じような形で増加するであろうという形になっております。

6番目には、それに向けてのロードマップということで示されておりまして、施設の修繕、改修、設備の更新を引き続き行うと同時に、サービスの提供というところでは3年目から満足度の調査、利用者人数の調査、地域事業の展開ということで、翌期の地域事業の展開を見据えてのロードマップということになっております。

7ページ以降、事業計画として計画的な事業展開を図っていきますという内容で記載されてございます。1つ目として委託事業の実施計画ということで、こちらにつきましては、町が今まで継続して実施してきた事業について、今後も継続実施をお願いしているところでございますので、その部分についての実施計画として示されているものでございます。

8ページ目に移りまして、として新規計画事業ということで、この資料ではバブルサッカーとドローン操作体験の2つが書いておりますが、提案ではそのほかにも検討しているということでの提案がございました。

もう一つ、として自動販売機の増設ということで、今でも設置はされているものの、提案書ではもう少し自動販売機を増設してはどうかという内容での提案でございます。

9ページ以降になります。利用者サービスの向上ということで、1つ目として利用者サービス向上のための取り組みということで記載してございます。

10ページ目になります。2つ目といたしまして、利用者サービスの向上においての、今後力が入られるであろうと思われるところがこちらになりますが、といたしまして広報活動、利用促進に向けてということで、こちらの部分が共同事業体として今回参画する予定のオリコンさんと、役割として担っていただく部分になるのかなと思っております。

11ページ目に、地域や他機関、事業所等との連携ということで記載してございます。こちらには、先ほどお話ししたオリコンさんが現在指定管理を受けております田園土田畑村との具体的な宿泊を伴うスポーツ施設の利用であったり、そういったもののプランを検討しておりますという部分になっております

12ページ目になります。

大きな3番として管理運営になりますが、こちらについてこれまでの体育協会さんがスポーツ施設の運営を行っていただいて、それと同じような体制がこちらに示されております。13ページ目までに、施設の維持管理ということで記載されております。こちらにつきましても、これまでの施設の維持管理の状況、こちらのほうを踏襲した形で基本方針が示されております。

として、モニタリングの実施ということで、今までも利用者のアンケート等をやっているというお話をいただいておりますが、今後モニタリングを実施してよりよいサービス向上につなげていくという内容の提案がされております。

14ページ目、大きな4番の項目です。収支計画についてということで示されております。令和2年から令和6年度までの5年間の予算、収入支出の部分がこちらに掲載されております。当初、令和2年、3年で当初2年間は収入支出マイナスになっておりますが、令和4年と6年

までの3カ年につきましては、プラスになるという内容での計画になっております。財政経営状況についてということで、体育協会さんの財務状況ということで、直近3年間の財政状況ということで、15ページの下欄に掲載されております。

16ページ目になります。大きな5項目めとして自主提案ということで示されております。1つ目として、施設利用の減免についてということで、これは今までも同様ですが、町内小学校以下の子供たちについては個人利用は減免と、これは引き続き行っていきますということで、

といたしまして団体利用登録についてということで、こちらにつきまして団体利用の増加に伴い、煩雑な予約利用や固定化による利用促進への影響が目立ち、利用者ニーズの視点からも今後最小限の制限のある登録利用や、登録制の見直しを提案するという形で記載されております。これにつきましては、いわゆる登録団体が利用料金がかからないということを利用の予約を乱発してしまって、本来使いたい方が使えなくなるという状況がところどころで見えるというところがありますので、そういった部分、利用者ニーズの視点から見直していきたいという御提案をいただいております。

につきましては、先ほどもお話ししたとおり、土田畑村との連携によるスポーツ施設の利用の連携を、もっとさらに進めていくというものでございます。巡回バスの設置についてということも述べられております。

といたしまして、利用料についてということで近隣施設との比較しますと、どうしても美里町の利用料金安いという状況になっているということだそうです。こういったことも踏まえながら、あとは利用料、使用料の適正な設定というのを今後検討していかなければならないのではないかという御提案がありました。

18ページ以降、指定管理の実績ということでまとめております。これまで、体育協会さんが実施してきております各種事業がこちらに、19ページ、書いております。

大きな7項目めとして、立ち上げ体制ということで記載されております。こちらにつきまして、現時点で体育協会さんが各施設の指定管理を受けているということもございまして、現状の維持ということが前提になっておりますが、問題ないこちらでも判断しております。

21ページ目には指定管理料が記載されております。こちらに記載されておりますとおり、単年度で5,036万6,000円という金額を示されてございまして、5年間合計で2億5,183万円という金額の指定管理料の御提案をいただいたところでございます。

以上で、資料5の説明を終わらせていただきます。

議長（大橋昭太郎君） ただいま、美里町スポーツ施設指定管理委託候補者の選定状況につい

て説明いただきました。皆さんから意見、質問等何かありませんか。鈴木宏通議員。

2番（鈴木宏通君） まず、確認をお願いしたいと思います。今、先ほど提案がありました14ページの収支計画、指定管理料、令和2年から令和6年、8番今説明されました21ページ、令和2年度から令和6年度までの指定管理料が、5,355とあります、令和2年。そして、違う指定管理料がここで4つほどございます。合っているのが令和4年ですか、5,036万6,000円。

ここの数字の違い1点と、もう一つはプレゼンの中でありました16ページになります。自主提案の施設料の減免についてでございます。条例11条、第7項及びスポーツ施設利用の規則6条の2、3に小学生以下とあります。実際、条例11条であれば中学生という記述がありますが、この辺に関してどのようなお考えなのか。これはここからまた条例が違っていくのか。その部分のことをお願いしたい。2点。最初の確認なので。

議長（大橋昭太郎君） 高橋課長補佐。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） 済みません。まず1点、資料5の14ページ、指定管理料の欄、こちらでは令和2年予算から令和6年予算まで、表示が5,035万5,000円と表示されております。こちらが、令和2年予算、令和3年予算、令和5年予算、令和6年予算となっておりますが、こちら、計算いたしますと数字の表示が誤りであるということで、こちら最後に示させていただいております21ページの指定管理期間の指定管理料、それぞれの金額が提案者から提案いただいている指定管理料であるとなっておりますので、14ページは表示間違いということで、こちらでは認識しております。

済みません、説明補足させていただきます。実際、これはプレゼンの資料でございまして、提出いただいております提案書では、この数字が最後にお示しした5,036万6,000円という数字が正しい数字で提案いただいておりますので、こちらの14ページの資料が間違っているという認識でございます。

議長（大橋昭太郎君） 鈴木議員。

2番（鈴木宏通君） 収入は、1ずつ低い足し算になる予定なんですが、収入は合っているという認識でいいんですね。収入合計総額がありましたよね、5,345万7,000円、令和2年、これは本当は5,035万6,000円だと合うんですが、そのとおりですよ、合っていますよね。確認だけ。いいんですね。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 今の部分についてですが、この後議案を出させていただく際には提出いただいた全体の全てを、提案書全てを提出させていただきたいと思いますので、

そのところは間違いなく正しくしてもらっておりますので、大変申しわけございません。

2つ目は減免のところですね。（「条例の規則の部分のどうかという。中学校が入っているんですが、中学生」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） それでは、説明させていただきます。

美里町スポーツ施設条例施行規則の中にですね、使用料の減免第6条がございます。こちらの中に、条例11条の減免の規定があるんですが、その中で町長が減免を定める額は次のとおりとなっております。2つ目ですね、第2項のところに、町内の幼稚園、保育所もしくは小学校に在籍する者または町内に住所を有する幼児もしくは小学生が個人で使用するときは全額減免と。3つ目、第3項に町内の中学校に在籍する者、または町内に住所を有する中学生が個人でスイミングセンターを使用するときは全額となっております。今回はスイミングセンター、この中に入っておらない、第2項の先ほど読んだ部分が該当するというので、中学生の記述がない。ただ、学校教育で使う場合についてはもらわない、無料ということになります。

議長（大橋昭太郎君） 鈴木議員。

2番（鈴木宏通君） では、この3項に係る部分は、中学生に関してはスイミングセンターという解釈、3項に関しては。あとは学校行事または学校で使う場合に関しては無料という解釈ということで、ここは別な表記ではないよと。そのとおりにしている。わかりました。

議長（大橋昭太郎君） ほかにございますか。柳田議員。

10番（柳田政喜君） まず最初に、経過で6月27日に現地説明会及び施設見学会に3社の方が参加したと書いてあります。ちなみに、どのような会社がほかにあったのか。最初に、応募が1社しかなかったということで、やはり今回1社応募してきたところは今までの実績のもととあるところということで、共同事業体ということで、やはりその強さを感じて諦めたというか、そういうのも感じる可能性もあるんですね。だから、実際はどういうところが視察、見学に来ていただいているのかと参考までに聞きたいなと。

もうちょっと、内容的に確認なんですけれども、17ページ、最後にこちらの資料の17ページの利用料金についてということで、適切な利用料金の改善を提案していきたいということなんですけれども、改善する際の手続としてどのような形で改善することができるのかという、段取りはどうなのか。

議長（大橋昭太郎君） 2点ですね。まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 6月27日の現地説明会及び施設見学会に参加した団体なんですが、1つはNPO、それからもう一つが民間の会社ですが、全国的にスポーツ施設及び各公的な指定管理を行っている団体。もう一つは県内で指定管理を実際に行っている団体という3団体が参加いたしております。

もう一つですが、2つ目が17ページの部分なんですけれども、料金の改定について、今条例で定めている上限の金額を、料金を徴収しているというところでございますので、今後も指定管理者と調整をし、町としても改定が必要だという場合は条例を、美里町スポーツ施設条例で料金を定めておりますが、そこの改定をお願いするということになります。

議長（大橋昭太郎君） 柳田議員。

10番（柳田政喜君） 私がさっき確認したかったのは、最初からこの今回指定を受けたオリエンタルさんと体育協会さんの共同事業体に関しては、1社ということによろしいのですか。説明会のとき。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） お答えします。

その時点では、私たちはそのような形で応募されるということとはわからず、1社ずつ受け付けをさせていただきます。（「だから、会社は3社のうちの1社。例えば別々に出てきたわけじゃないんでしょう」「結果として」の声あり）先ほど、3社参加したという部分につきまして、1つの今回応募いただいた部分の、ばらばらに数えました3社のうち2つが共同事業体として応募いただいた。（「要は、実質2社になる」「3社来たけれども、そのうち2つが一体になって応募してきて、そこが1社だけだったということは、1社が手を引いたということ」の声あり）そうですね。ただ、私はその時点ではお話は特段聞いていないので、それぞれ受け付けをさせていただいております。

議長（大橋昭太郎君） 柳田議員。

10番（柳田政喜君） 確認しますね。6月27日の時点では、3社の中にそれぞれの会社、団体があって、それが応募になって1社になって受け付けしたということによろしいですか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 議員のおっしゃるとおりでございます。

議長（大橋昭太郎君） 柳田議員。

10番（柳田政喜君） さきの料金改定の件ですけれども、最終的にはある意味条例内の上限額以上に勝手に変えることはできないと解釈してよろしいでしょうか。協議はちゃんとしてもら

えるということですね。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） そのとおりでございます。（「わかりました」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） 吉田二郎議員。

4番（吉田二郎君） 2つほどですけれども、1つは字句だけの問題なんでしょうけれども、私なりに気づいたこと。9ページの18というその中で苦情の未然防止の中に、利用者から寄せられる要望、苦情は市政に対してという文言があったんです。市政ではなく美里町かなと思って解釈しました。

それから、10ページ、同じく20のスライド使っていて真ん中の使いやすさ、わかりやすさの向上のところ、仙台圏の小中学校へ配布される機関紙だっけ、載っていたんだけど、これもちょっと。

それから、15ページの30のスライドの収支計画についての単位が1,000円になっているんですけども、1,000円でやると平成30年度で1,224億2,000円になるんですけども。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） ただいまの御指摘事項、まずは9ページのプレゼン資料の18ページのところに書いてありますね。ここの部分については美里町ですので、町政と書きたかったと理解してございます。

それから選定資料10ページでプレゼン資料の20となっている部分ですね。ここの仙台圏というのは、あえて仙台圏にということで考えているという、町内だけでなく町外にもという部分を、オリエンタルコンサルタンツさんは町外のいろいろな部分に対して広報もしていきたいという話もされておりましたので、その部分かと理解しております。

最後に、ゼンセンの15ページ、プレゼンの資料だと30になっている部分ですが、ここの単位は御指摘のとおり、円の間違いであると推測しております。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

4番（吉田二郎君） わかりました。

あともう一つですけれども、運営体制と収支計画の関係、共同事業体ということになるというのが、当然トレーニングセンターが事業所の窓口なんだろうけれども、そのオリエンタルコンサルタンツの職員さんというか、何ていうか、とにかく一緒に運営に携わって常時やっていくというスタイルでなっていくのか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） まだ、その辺は具体的などころまで確定しているとは聞

いておりませんが、基本的に業務を分けまして、これまでの施設運営、施設管理、行事の運営等につきましては体育協会さんがそのまま主にやっていくと。その他、広報とか企画についてオリエンタルコンサルタンツさんが、そこにアイデアとか実際にホームページをつくったりとか、そういう部分をメインに、企画、広報の部分と分かれるので、必ずしも事務所の中に一緒に入るといことになるかどうかまでは確認、現在はできておりません。ただ、そのような形で業務を分けて、それぞれ取り組んでいただくことは聞いております。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

4番（吉田二郎君） 常勤という姿じゃなくて、何かあったら打ち合わせてやるというスタイルをしていくんですね。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 多分、そのようになるのではないのかな。確認としてはおりませんが、そのようなイメージのお話は聞いてございます。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

4番（吉田二郎君） 予算書を見ると、令和2年から人件費が360何がし少なくなっていくようなんだけど、15ページです。これは現職員を削減というか、減らしていくという意味じゃなくてどこかで切り詰めるようにしたものなのですか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） ここの部分なんです、人件費の部分が今年度までには、前年度までですか、30年度までの平均に比べて低くなっているということのお話なんです、ここにつきましては、まずもって最低限の人数を確保するということの仕様を出させていただいて、それに基づいて提案いただいた中身ですので、人数について人件費について、提案の中で下げて出しているという解釈をしています。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

4番（吉田二郎君） 私、解釈したのは、ですから、平均値でも下がって少ないということ、その資料、人件費はあると思うんですが、今までいた人の分を少なくなったために、少なくしようとして減っているのかなと思いました。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） その部分なんです、具体的にどういう人員体制でやるかというのを示されておらず、最終的には提案内容の形でいただき、総額で最終ページにある金額でいただいたということが事実でございまして、町の仕様を十分にクリアする人員体制を

つくっていただいて、それで試算してこの金額でやれるということを出していただいたものと認識しております。

議長（大橋昭太郎君） 前原議員。

11番（前原・宏君） それぞれの資料19ページの指定管理の実績、大きい6番、37ページ、これは大きいページ、19ページ枠の数字が37番。6指定管理料です。この中、野球関係が全然入っていないんですけれども、これに関しての質問です。

場所としては野球場2つぐらい入っていますよね。指定管理の実績だけですけれども。それで、私が言いたいのは、大きい資料2ですね。4ページ、公募の概要、対象施設、4ページ、5ページにまたがってあるんですけれども、8施設ってありまして、この中には南郷グラウンドと素山テニスコートは入っていないんですよね。まず確認。（「もう一度資料の場所を確認させてください、申しわけございません」の声あり）大きい資料の2、資料1だ、ごめん。公募要項の4ページ。公募の概要の(1)対象施設4ページから5ページ。8施設ありますよね。この中には南郷グラウンドと素山テニスコートは入っていないんですね。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） まず、南郷グラウンドは俗にそう呼ばれていることもありますが、正式には設置条例上は南郷運動場という名前で、それは同じものでここに載っているということでございます。5番がそれになります。それから、素山テニスコート、今ゲートボールになって余り使われていない素山球場の上のところにある部分につきましては、現在体育施設として指定管理の対象に上がっている施設ではございません。

議長（大橋昭太郎君） 前原議員。

11番（前原・宏君） その資料の3ページに、大きい3番の(3)主な施設の 素山球場の駐車場の8台、次の4番の南郷球場の駐車場の30台、なっていますよね。それ絡めてなんですけれども、向こうではプレゼンしていただいた利用率を上げていくということなんですけれども、プレゼンの5ページ、提案書5ページ、目標について。5年で1.1倍利用者ふやすって。これっというの、さっき私なんかちょっとこだわるんですが、野球の利用者、南郷グラウンドの使用料金と素山グラウンドの使用料金が、ここで聞いても仕方ないけれども、多分格差があると思うんです。ただし、素山球場のほうが多分安いと思う。ただし、利用実績はそのとおり素山のほうが多いんです。駐車場に関しては、利用しやすさからいったら南郷球場のほうを利用しやすい。だったら、そのとおり利用率を上げるためには若干下げれば、逆に利用率が上がってくるんじゃないか。そういう提案があった場合どうするのか。素山をそのままだとして、南郷球

場を逆に下げる。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） その御提案もそのとおりで、料金とすれば実際に違いが
ございます。南郷球場ですと1時間当たり一般の方が使って1時間1,000円という金額。素山野
球場につきましては1時間600円、1時間当たり400円違います。これは基本的には施設が違う
というところが正直ありまして、施設の維持管理の管理費用も変わっておりまして、それに見
合った分ということで金額は1,000円、600円と差が出てきたところではございますが、そのよ
うな考えで利用者がふえ、最終的には使用料がふえるかどうかという部分については、指定管
理者と維持管理料といろいろ考えまして、検討する価値はあるかと思えます。

議長（大橋昭太郎君） 前原議員。

11番（前原・宏君） そのためには、例えば素山野球場のそのとおりにするんでしたらば、さ
っき話ししましたグラウンドゴルフ、ゲートボール場、テニスコート、駐車場にさせていただく、
高齢の利用者が使えない状態なのでぜひ提案出してみるのも。そういう答えがあったらどうす
るのか。以上です。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 今のお話は、素山野球場の駐車場が足りないということ
を言われている部分にもつながるのかなと理解してございます。実際に、野球の団体からその
ようなお話はいただいております。駐車場がないよという部分は大会を行う際に遠くから来
ていただくということでも、やはり駐車場がないのは不便だというお話をいただいているとこ
ろでございます。この部分につきまして、今お話しいただいた敷地は限られているんですが、
実際あそこは公園となっているということで、大きくは建設課で管理している。その中で関連
する法令の中で、何をどれくらい置けるというのは多分定まっているはずなので。駐車場であ
ればどこまで広げる、建物であればどれくらいまで全体の面積のうち置けるとか多分決まっ
ていますので、その中から、そういう点も含めて調整をして、どこか皆さんが使える駐車場とい
う部分が確保できないかということは要望もございますので、検討していかなくちゃならないと
いうことで、今実際考え中というところはございます。

ただ、まだ結果のところまではいっていませんので、実際そういう要望は耳には入っており
ます。

議長（大橋昭太郎君） 追加議案で、これ出てきますので、ここで1回休憩いたします。

再開は3時10分といたします。

午後2時57分 休憩

午後3時10分 再開

議長（大橋昭太郎君） 再開いたします。

これは追加議案で出されるものですから、この部分については本会議でやっていただきたいと思えますし、あくまでも今説明を受ける段階ですから、大もとのところでの部分のところまでやっていくことと、1項目ずつやっていくというものではないと思えます。

ほかにありますか。手島議員。

6番（手島牧世君） 大きくは4つ。まず初めに、スイミングセンターを外したのは専門的なノウハウが、済みません、回答は簡潔に簡単で構いません。専門的なノウハウが必要であるからというお話だったんですけれども、当初から選任していた、設立のところから専門的なノウハウは必要なので、なぜ今回別になったのかももう一度お願いします。

それから、実績に関して、中のほうで指定管理者の実績、8年間体育協会がやっている実績は十分と考えている文言がたくさんありますが、その実績について例えば追加で資料がもし準備できるのであれば、8年間の資料、指定管理料の減額の推移ほか利用料、人数の増加、利用料の増額、自主事業の成果と、そういったものがないと。

議長（大橋昭太郎君） 手島議員、手島議員、それはね、出てくる話では。

6番（手島牧世君） はい。そういう部分での十分な実績というのは考えられてきたのかなというところでしたので、こちらを資料として提出できないかということ。

また、プレゼンに関しては、選定評価基準とも伴うなんですけれども、まず初めに、選定委員の最大の評価と最小の評価、こちらの数字を教えてください。また、プレゼンの内容として、例えばプレゼン内容の5ページ、先ほども話がありました5年間で1.1倍といったところを含めた地域貢献度とかというのが、どの辺に入ってくるのかを知りたいと思っています。

あとは、仕様に関して料金設定のお話があります。そちらは仕様の中で多分今ある使用料を最大にしてそれ以下何%とか、あと仕様書の内容に関しては、例えば0.5から1.5までの範囲内で利用料金が設定できるという決め方自体で、指定管理というのは使用料の設定が委ねられるかと思うんですけれども、そのことについてお伺いします。

以上です。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） まず、1つ目のスイミングセンターをなぜ外したかです

ね。これまでは一体でやってきたものを分けたのかということについて、御説明をさせていただきます。

これまでですと、8年間幸い大きな事故もなく、何とか実施はしていただいたところでございますが、今回いろいろと皆様から安全についてお話、要望等いただいていたこともございます。それを踏まえまして、これまでの実績ということはあるのですが、それ以上にその他民間、公募をさせていただく際に、やはりプールとその他の美里町の8つの施設、違うと判断した。理由としては、プールは個人利用が多い。今のところですね。それから、健康増進のために高齢者も多く使えるような部分、個人利用が多いというのがまず一つ。あとは、それ以外の部分は、各団体等がこれまでもお手伝いいただいている業界に加入している団体等があるので、地域に密着している関連団体とも近いという部分で、あえてその部分については、プールについては安全性、安全安心の部分重視したい。その他のためには、住民とか地域の団体の方と連携して運営をしていただきたいということで、今回は分けて募集をさせていただいたということでございます。

それから、実績のことですか。資料提出。

議長（大橋昭太郎君） この議案に対してだしさ、これに対して資料を出せっていう部分、資料に対して資料を出せということはだめだと思いますよ。（「不足だと思います」の声あり）（「これあくまで全協資料でしょう、本当に必要であれば議運でそれを要求するから、それで終わり」の声あり）総務課長。

総務課長（佐々木義則君） 今回、採点の内訳というところについて、非公表となっておりますので、前回200点満点に対しての最高点、最低点といったところでお出しさせていただきたいと思います。先ほどお話ししたとおり、平均については117.8でございましたが、最高点につきましては131点、最低の点数については106点ということでした。

以上でございます。

議長（大橋昭太郎君） 料金改定について。まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 今回、料金につきましては町の条例に基づきということになりますので、美里町スポーツ施設条例に定めている料金が上限ということで、公募されたところでございます。今言ったような裁量で、0.5から1.5という規定を設けてはございません。

議長（大橋昭太郎君） ほかにございませんか。千葉議員。

14番（千葉一男君） 1つ目は、指定管理者候補の選定までの経過を説明をいただきたいと思っております。

次にJVなんですけれども、契約書についてはどんな方法で契約するのか。うちは町長で相手方はJVという私もよくわからない、言葉だけで。契約はどんな方法でやるのかな。だから、代表者、契約の相手の代表者は誰なんですか。

議長（大橋昭太郎君） 遠山課長補佐。

総務課課長補佐（遠山 薫君） JVの契約方法という御質問だったんでございますが、通常の工事等の契約と同様に、今回ですと特定非営利活動法人美里町体育協会と株式会社オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理共同事業体と美里町が契約、いわゆる今回協定という契約になるんでございますが、そういった格好になります。

以上でございます。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員。

14番（千葉一男君） そうすると、言葉は契約であろうと協定だろうと、相手の協定者の代表、誰なんですか。（「資料4の1ページ」の声あり）わかりました、読みました。それでも読み切れなかったんで質問したのですけれど。応募者と団体、所在地、代表者、なっているんですね。上のほうの人、オリエンタルコンサルタンツ美里町スポーツ施設指定管理業務共同体、それで所在地。全体の代表者を一応体協の武田さんが契約者になります、こういう内容ですね。そうすると、ここでも出てくるのは体協でなくてオリエンタルコンサルタンツ。そうすると、共同企業体の協定書もまたあるんですね。

議長（大橋昭太郎君） 総務課長。

総務課長（佐々木義則君） 今話があったとおり、団体名が先ほどいったとおり共同体ということになります。所在地もここに下新田97の1で、代表者が体協さんの会長ということで協定者、契約者についてはそうなります。当然、この団体に関してはお互いの取り決めと協定書があるということになります。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員。

14番（千葉一男君） それは私たちにも資料が何か出してもらおうのですか。（「議会資料では当然その辺も考えております」の声あり）もう一つ。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員。

14番（千葉一男君） 最終的に、そのことの協定書ができ上がりますよね。これは一応資料でもらったんだけど、要するに約束書の書類ですよ。これはつくり上げたときに全協が何かで説明したのか、中身。資料をくれるか。

議長（大橋昭太郎君） 総務課長。

総務課長（佐々木義則君） これまでも指定管理の際については協定書案ということで、議案資料ということで提出させていただいておりますので、そういう形で考えております。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員。

14番（千葉一男君） こういうふうにも外部委託になる指定管理が出てきてどんどん多くなっています。今からなおさらふえる。そこで、行政サービスとしてのスポーツ、位置づけ、行政サービスとしての現状、将来、スポーツの位置づけ、どうなるっていうのはだんだん商売に近づいているような契約の内容に近づくんですよ。こういう民間を活用してくるとなってくる。その辺の考え方は現状あるのか。あるいはこれから検討していくのか。

議長（大橋昭太郎君） 副町長。

副町長（須田政好君） 地方自治法が改正されて指定管理制度が導入されたときの背景があると思うんですが、今までの公のサービスをそれぞれ民間の力をかりながらそれぞれの専門分野がございまして、これまで行政が専門分野を職員に持たせるのではなくて、外部の専門的な知識、技能を活用して効率よく運営していくというのが指定管理者の狙いといいますが、目的だと思えます。それに沿った形で効率的に運営できるのであれば、各施設それぞれスポーツ施設であろうと、指定管理制度を取り入れるというのが町の考えであります。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員。

14番（千葉一男君） それは国はそういう考えで民間の活力を利用してとやっていますけれども、具体的に幅があるし、中で決定していかなくちゃならない。

議長（大橋昭太郎君） 千葉議員、千葉議員の思いはわかりますけれども、今全協の中でその部分まで突っ込んでやりますか。（「業者の提案あったときに、質問していいですか。議決の案件は、議案になるのは」の声あり）質疑として出してください。（「だから、そのときの質疑でいいですね、もう一つ」の声あり）千葉議員。

14番（千葉一男君） 公共施設の統廃合がございまして。こういう中で、例えば対象になっているやつを見ても、ばらつきが随分あるように、私思いますので、この辺を加味していますか。

議長（大橋昭太郎君） 副町長。

副町長（須田政好君） 今回お願いした施設については、この指定管理の期間内に統廃合するというのは、現在では計画してございません。（「これもじゃあ細かいことは質問させていただきます」「ただ、この議案に沿っているかどうか、その判断はさせていただきますよ」「それは構いませんよ。ただ、その中に業者の指定なんですよね」「ですから、今統廃合の考えはな

いと言っていた」「だから、これを出していくときに、今はないかもしれないけれども」「議案を出して提出する考えは今はないと」「はい、わかりました」「何もかにもここで、一般質問でないんだからさ、その説明に対する大きな部分でやってもらわないと、ずっと続くから」「そうです」の声あり)

議長(大橋昭太郎君) ほかにありませんか。平吹議員。

5番(平吹俊雄君) 議案外になるかもしれませんが、ここで聞きます。そういう意味です。

というのは、やはり体育協会とオリコンさんというのかな。共同体、すばらしいなど。片や、行政の関係。片や、宿泊とか観光のプロということで、それぞれ思ったんですが、南郷地区発展のためにはやはりあそこには一体化しているんですね、スポーツ施設関係。野球場もあるし、スイミングセンターもあるし。そういう意味で、17ページに小破規模の修繕ということで、料を多くするということになるんですが、ちなみに、小破修理というのは20万円以内が指定管理者ということですね。それ以上は町と。

そういうことで、例えば今の土田畑村で直すところがあるというんです。例えばお風呂の状況。それから、グラウンドと言え(「土田畑村の話」の声あり)いや、違う、宿泊と例えばスポーツを両立した場合に、例えば合宿した場合にその場合に泊まってもらう。(「この中ではないですよ」の声あり)だから、17ページで提案されているでしょう。

それで昔ですけれども、小牛田時代に南郷球場があって、各旅館もありました。そのときは旅館は大分町発展のために進んだのですよ。だから、私言いたいのはそこなんです。スポーツ関係と合宿、宿泊、一緒にしたそういう町のまちづくりというのも私、必要なのかなということで、小破修理というのは20万円以内では、やはりそういう規模で管理はできないだろうと。だから、今言ったお風呂が、例えば20万円で直せるのかどうか。そういう管理体制というのはやはり充実していかなければ、利用者というのはふえないと私、思います。だから、その辺、そのように。だから、商売じゃなくて、やはりあくまでも町発展のためにと私は思っているだけなので。

議長(大橋昭太郎君) 副町長。

副町長(須田政好君) 20万円を上限に直していくという考えではなくて、壊れたときには20万円の小破の修繕であれば、直接指定管理者の方に直していただくと、それで大きな改正については長寿命化計画とあわせて改修は行っていく考えでございますので、土田畑村のところもその中で直していきたいと考えてございます。

議長(大橋昭太郎君) 平吹議員。

5番（平吹俊雄君） それで、やはりそういうのは計画的にしていかななくちゃ、例えば1.1倍、それでいいんですかと私は言いたいのだ。倍にしますとか、やっていかないと提案書ですからね。だから、そういう計画的な改善というか、修理というか、そういうのもやはり立てていかないと、集客を多くするためには。今までどおりになってしまうんじゃないのかなと思うんです。だから、その辺はやはり提案もあることだし、町でその辺真剣に考えていただきたい。そういう意見です。

議長（大橋昭太郎君） 意見として伺ってください。

ほかにございませんか。村松議員。

3番（村松秀雄君） まず最初に、先ほど答弁の中で、まだ折衝はしていないがこう思うというあやふやな答弁がありましたので、それについてはわからないことはしていないとはっきり御答弁されたほうがいいと思います。まず一つ、それだけ。

次に、7ページにございます平成26年度から30年度指定管理料、資料7ページ、最初のほう、プレゼン資料ではございません。7ページの真ん中（3）（「資料1ね」の声あり）済みません。参考資料で5年間の指定管理料があります。これについては徐々に上がっております。5年間で1,000万円くらい上がっているんだけど、この推移の原因って何でしょうか。どういふ原因でなっているんですか、上がっているのは。まあ、いいや、この辺、協定書を見ないとわからない部分がだいぶあります。

議長（大橋昭太郎君） ほかにございますか。山岸議員。

9番（山岸三男君） 2点だけ。1点は共同企業体ということで出てきたんだけど、もともとはスポーツ施設でやっていたのはオリエンタルさんも入って共同事業体ということ。だったら、私思ったのは最初からオリエンタルさん1本で管理して、さっきの説明の話も出ましたが、最初の説明会で、見学会に来たときは知らなかったというお話でしたよね。そして応募されたときにはっきり共同事業体で応募されたということですけども、町でそれ知らなかったと、どうなんだろうと思ったんですね。一方で、オリエンタルさんに直接の経営運営してもらったほうが効率がいいだろうと思ったので、その辺はどう考えるのが1つです。

それから、16ページのオリエンタルさんの提案書。自主提案の提案理由で と で、 がすぐ前に手島さんも提案した利用料金だとか切符の販売とか、この提案はいいなと思ったんですけども、この提案された内容については私たち議会の内容についての説明とか、そういうことはあるのかどうか。その2点お願いします。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） まず、1つ目です。今回応募を説明会を6月27日に実施させていただいた際には、自由参加で公募ということですので、いただいた結果でございますので、そのときは先ほど言ったとおり、3社いらっしゃいました。応募は応募で、結果的にこちらは待っている状態ですので、それを事前に確認するということはもちろんしてございません。締め切りまでに必要な書類をいただいた結果、そのような応募があったというのは事実でありまして、そこをこちらでもどちらと組んで出すのかということももちろん聞いておりませんので、結果としてそういうことであったということでございます。

議長（大橋昭太郎君） 課長補佐。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） 2点目の団体利用の登録についてという件で、自主提案をいただいた件につきましては、こちらで確認している内容といたしましては、先ほどちょっとお話しさせていただいたとおり、団体利用される方は今現在使用状況、要は利用するために予約を事前に入れていただく状況についてでございます。これが今現在やはり、言い方はちょっとあれなんですけれども、予約はただでできるので、予約をどんどん入れられるんですけれども、予約を入れることによってほかにその日使いたい方が使えない状況が見受けられるということでしたので、登録されている団体ではありますが、予約の仕方について提案をさせていただきたいという内容でございましたので、特段の条例規則に触れるような部分ではありませんので、運用の中でこちらの担当課と指定管理者との間の協議の中で決めるべき事項かなと思っておりました。

議長（大橋昭太郎君） よろしいですね。（「はい」の声あり）

それでは次に、3）美里町スイミングセンターの指定管理者候補者の選定状況についてに入ります。総務課長。

総務課長（佐々木義則君） それでは、美里町スイミングセンター指定管理者候補者の選定状況についてというところで引き続きまちづくり推進課、総務課で説明をまいります。初めに、まちづくり推進課長から御説明申し上げます。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） それでは、美里町スイミングセンターの指定管理者候補者の選定状況についてということで、御説明させていただきたいと思います。なお、先ほど来御説明させていただいておりましたスポーツ施設と同様の部分については、割愛させていただいて説明させていただくことをお許しいただきたいと思います。

それでは、先ほどと同じなんですが、説明はさせていただいた部分として、スイミングセン

ターについては先ほど来御説明させていただいたとおり、別にさせていただいたというところ
でございます。施設の運営、それから施設の維持管理等に関してより高い専門性、ノウハウが
必要だという判断をさせていただいた部分、それから、プールについては個人利用が多いとい
うことで、新たなアイデアでかなり利用をふやしていただきたいという部分もあり、公募をさ
せていただいた、スポーツ施設と分けてさせていただいたというところでございます。

資料をごらんいただきまして、1枚目の選定状況についてという部分につきまして、経緯に
ついてはスポーツ施設と同じでございます。3の今後の予定についても同じということで、今
後9月の会議において追加で提案させていただきますとともに、指定管理料について5年間と
いうことになりますので、債務負担についてもあわせて補正予算を追加をお願いさせていただ
きたいと思っております。

では、スイミングセンターの部分について配付資料1、2について担当課で違う部分、関係
する部分のみ選んで説明させていただきたいと思っております。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） それでは、説明は私から。資料1についてまず説
明させていただきますが、ただいま課長からもお話があったとおり、スポーツ施設の公募要項
と同じとなっております。かいつまんで、違う部分であったり、そういったところを説明させ
ていただきます。

6ページになりますが、指定管理料の部分でございます。もちろん、この部分は先ほどお話
したスポーツ施設とは別になっていきますので、金額的なものは26年度から30年度までの金額
を、スポーツ施設の中でもスイミングセンターの部分を抽出した金額という形になっておりま
す。

同じく次の7ページの利用率収入、こちらにつきましてもスイミングセンターに特化したと
いうことで、抽出したものになってございます。

続いて、7ページ、8ページにわたっておりますリスク分担の部分、こちらの部分で先ほど
もお話しさせていただきました8ページの上の部分になりますが、施設等の損傷の部分、こち
らの部分はスイミングセンターにつきましては施設の規模または種類、そういったものもあり
まして、1件に係る修繕の金額が先ほどのスポーツ施設とは別に、20万円という金額ではおさ
まることがなかなかないと。1件当たり50万円以内というくくりを新たに設けさせていただ
きまして、それを3件分というか単純計算して3件分になりますが、150万円をその年度の上
限とさせていただきます。

以下の部分につきましては、先ほどのスポーツ施設と同様という形になっておりますので、

大変申しわけございませんが、説明は省略させていただきたいと思います。

引き続き、資料2ということで美里町スイミングセンター指定管理者業務の基準というところの説明をさせていただきますが、こちらの資料も体系的には先ほどのスポーツ施設と同様になっております。一般的なスポーツ施設の業務の基準ということで示させていただいておりますので、1ページ目の第4、指定管理施設等というところ、こちらがスイミングセンターの内容になっております。それ以外の部分につきましては、先ほどのスポーツ施設と同様となっておりますので、説明を省略させていただきければと思います。

よろしく願いいたします。

議長（大橋昭太郎君） 説明、簡単にさせていただきましたが、総務課長。

総務課長（佐々木義則君） そのほか、総務課からこちらのスイミングセンターと指定管理者候補者の選定についての答申などについて、資料3の選定評価基準は先ほどと同じでございますので、資料4の部分、答申内容について御説明させていただきたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

議長（大橋昭太郎君） 課長補佐。

総務課課長補佐（遠山 薫君） 私から、美里町スイミングセンター指定管理者候補者の選定について答申の概要を御説明させていただきます。

1ページ目、3、公募概要の申請状況等の（3）の部分をお説明させていただきたいと思っております。応募者でございます。団体名、株式会社ダンロップスポーツウェルネス、団体名、株式会社東武。2ページ目に移りまして、団体名、特定非営利活動法人美里町体育協会でございます。

続きまして、4ページ目をごらんください。2、審査結果でございます。審査番号1、株式会社ダンロップスポーツウェルネス、得点154.0です。2、株式会社東武、118.4点でございます。3、特定非営利活動法人美里町体育協会、110.2でございます。得点順位といたしまして、株式会社ダンロップスポーツウェルネスが1位、株式会社東武が2位、特定非営利活動法人美里町体育協会が3位でございます。

3、指定管理者候補者の選定でございます。応募書類及び応募者によるプレゼンテーションの審査の結果、200点を満点とし最低基準100点を上回りかつ最上位となった株式会社ダンロップスポーツウェルネスを指定管理者候補者として選定した。また、最低基準点100点を上回り次点となった株式会社東武を次点候補者、第3順位となった特定非営利活動法人美里町体育協会を第3順位候補者として選定しました。

最後でございます。総評でございます。美里町スイミングセンターはスポーツの振興及び普及を図り、もって町民の健康増進とコミュニティー活動の推進を目的とした施設であり、指定管理者は設置目的を実現するための事業を実施していくことが求められる。指定管理者候補者の選定を行うに当たっては、スポーツ振興及び普及が図られる提案がなされているかが重要となる。

美里町スイミングセンター指定管理者候補者の公募に対し、3団体から応募があり、審査においては本施設の基本方針や事業計画、管理運営、収支計画などの評価項目などから審査を行い、指定管理者候補者及び次点候補者等を選定した。指定管理者候補者である株式会社ダンロップスポーツウェルネスでは、総合スポーツクラブの経営、各種スクール事業、また公のスポーツ施設の指定管理を行う企業である。同社の提案に対する評価は次のとおりである。

基本方針については、本施設の現状と課題及び美里町の施策推進を踏まえた管理運営の基本的方針を示し、その内容は遵守事項5項目、重点取り組み11項目と細分化されたものであり、指定管理期間中の目標実現のための推進方策（シナリオ）も具体的に提案がなされている。事業計画については、利用者に継続して運動を実施できるようなプログラムが計画されており、自主事業の展開手法についても明確に示されている。また、地域、各館、事業所等との連携、近隣小学校への指導員派遣など、具体的な実施策の内容が提案されている。

管理運営については、人材育成プログラムや危機管理についても明確に示されており、効率的かつ管理運営体制を構築する内容が提案されている。主な内容としては、施設案内だけでなく、利用方法や施設利用の手続方法といった内容も含め、利用案内（リーフレット）を作成し、スイミングセンターのみならず、町の施設に配布することで積極的な施設情報の公開が示されている。指定管理の実績等については、宮城県内のスポーツ施設を初め、近隣市町スイミングセンターの管理運営を行っており、実績は十分と考える。

以上のことから、株式会社ダンロップスポーツウェルネスを美里町スイミングセンターの指定管理者候補者として選定した。次点候補者については、株式会社東武、第3順位については、特定非営利活動法人美里町体育協会と選定した。

最後に、これまで8年間のスイミングセンター管理運営を担っていただいた特定非営利活動法人美里町体育協会には、町のスポーツ振興に寄与していただいたことに敬意を表する。今後も、町のスポーツ振興の視点から新たなスイミングセンターの指定管理者とスポーツ施設の指定管理者である特定非営利活動法人美里町体育協会が連携協力関係を築き、美里町の発展に寄与することを期待する。

以上でございます。

議長（大橋昭太郎君） ただいま、美里町スイミングセンター指定管理者候補者の選定状況について説明をいただきました。何かございますか。吉田二郎議員。

4番（吉田二郎君） 利用時間は書いてあったんだけど、営業期間のほうは話をやっていたのか。あと、館長、副館長、スイミングセンターに置くという運営基準がありますけれども、今まで携わったスタッフとかそういう人的な交渉、そういうのまで、話はこれからやろうとしているのか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 利用時間につきましては、条例で定めている時間がございまして、そちらをまず見て公募の際に出させていただいておりますので、それで運営していただくこととなります。

それから、今お話がありましたスタッフの関係ですが、今回（「営業期間」の声あり）営業期間についても現状と同様の試算で提案させていただいておりますので、期間についてもこれまでと、現状と同じになります。

それから、職員の体制の面でございますが、これまで南郷体育館に職員がいてプールに監視員等で対応していたということがございますが、今後は施設を分けたということもございまして、そちらに責任者である館長、副館長も常時いるような形で、提案としてはどちらかは営業時間にいるような形の提案をいただいておりますので、どちらかは必ず事務所にいる、館長もしくは副館長。それから、御提案いただいたんですが、いろいろプレゼンテーションの中で、できるだけこれから雇用は監視等するんですけども、美里町の方を引き続き、まず美里町の方を雇用したい。可能であれば御相談して、今働いている方の希望があれば引き続き雇用をしたいという御提案がございました。

以上であります。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

4番（吉田二郎君） 条例で、4時間とか記載されておりました。1月と2月が要するに機械の点検とかで長期休んでおりましたので、例えばこのウェルネスさん、ダンロップさんでしたっけ、来たときに常時年中無休でやるって条例としては変えなくちゃならないでしょうけれども、そんな話が出たときは、話は話ですけども、考えますというか受け入れみたいなのはあるのですか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） これまで、冬期間に合わせて点検等、一、二カ月ほど毎年休館していたところがございますが、その辺の部分について新たな指定管理者と協議が調い、運営も年中できるということになれば、それはそれでももちろんしていただくということになりますが、まずもっては現状でというようなことです。この分については条例には期間が入っていないので、提案としては試算した予算の部分。年間のこれまでの過去の部分を基準としてお示ししているということは、年間おおむね10カ月分の営業経費を、諸経費を見て年間の予算を組んでいるということもございますので、基本とするのはこれまでのもの。ただ、新たな指定管理者がそのような御提案を今後いただいて、年間通して運営をしたいということであれば、そちらについてはそのような形でできることを確認した上でお願いしてまいりたいと思います。

議長（大橋昭太郎君） ほかにございますか。柳田議員。

10番（柳田政喜君） 済みません、今回ダンロップさんですけれども、得点がすごい高いということで、先ほども得点の最高点と最低点教えてもらったんですけれども、ぜひ参考のためにこれだけ高い評価なので、5人の得点の上、下を教えていただければと思います。

議長（大橋昭太郎君） 総務課長。

総務課長（佐々木義則君） それでは、ただいまの御質問ですが、平均点が154点ということでございましたが、最高点につきましては175点、最低の点数は102点というような結果でございました。

議長（大橋昭太郎君） 柳田議員。

10番（柳田政喜君） これはあくまで全部の合計点の平均の計算でよろしいですか。例えば、よくこういう採点の方法に関しては高得点と最低得点をカットして、中3つでの平均点にするということがよくあるんですけれども、この場合は全ての合計点でよろしいですか。

議長（大橋昭太郎君） 総務課長。

総務課長（佐々木義則君） こちらは、最初に方法を決めて、最終的な点数を決定する際のルールとして、全体の数字を平均するといったことで委員会の中で了解をとって、評価を進めてまいりましたので、今回そういう形で進めております。

議長（大橋昭太郎君） 柳田議員。

10番（柳田政喜君） 資料3にあるとおりに、評価基準をきちんと定めてその中でやってもらったにしても、やはりこの点差は大きいのかなと。何しろ、平均点というよりも高い評価が出ているというのが、大変今回好ましいと思うのですけれども、この差はちょっと大きいと思

うので、これは今回の件のみでなくてやっていただきたいなと思います。

以上です。（「要望だよ」「こうやってもらいたいという」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） ほかにございますか。藤田議員。

8番（藤田洋一君） 今回、専門、プロの、専門の管理者ということですがけれども、総評の中でもありますけれども、ここを運営することに事業提案か何かで指導もするとそうになっているんだ、利用者に対する指導あるいは小学校の子供たちが使うときの指導、その辺も含めての指導者がいるという条件のもとにこの指定管理に入ったのか。その辺の中身はどのようなんでしょうか。地域の連携も含めて全てここにありますがけれども、やはりスイミングセンターに行って指導を受けられればなおさら次にまた行くという利用者もふえていくと思いますけれども、その辺を踏まえての指導者の派遣を含めて、この中に常にいるということによろしいんですか。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） 今回、候補者となっておりますダンロップスポーツウェルネスにつきましては、現在近隣で東松島市矢本のゆぶとという施設をやられているということでプレゼンでもありましたが、そちらと連携しながら人的な確保を行っていくということもございますし、常時指導関係、責任者のいるような形になっておりますので、どうしても人が足りない場合にはこちらと広域的にスケールメリットを使って人的に増をかけながら運営をしていくというお話をいただいております。

議長（大橋昭太郎君） 藤田議員。

8番（藤田洋一君） じゃあ、常に連携がとれれば利用者からそういうことの要望あればそれに答えていけるというような体制なんですね。それでよろしいですね。

議長（大橋昭太郎君） まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（齋藤 寿君） そのように認識しております。（「わかりました」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

1番（吉田眞悦君） 2つだけ確認させてください。

まず、1つは提案書の関係なんですが、これはあくまで相手方が出すものであって、こちらでどうのこうのというものでない。だから、ミスがあったとしてもそのまま提供しますという考え方でいいのか。さっきもほら、誤字脱字だけじゃなくて。だから、そういうものは担当課ではチェックはしませんでいいのか。まずそこ。（「1つずつ」の声あり）町の募集要項とか仕様書とか町の方だから。ただ、提案は向こうの方だから、出されたものについてはそのまま、

間違いであろうと中身が意味不明であろうと、そのまま資料として出すんですかと。

議長（大橋昭太郎君） 副町長。

副町長（須田政好君） 提出いただいた資料は、確かに提案者である事業者の方からいただきました。しかし、今回指定管理に選定しましたダンロップスポーツウェルネスの資料につきましてはもう一度しっかりと目を通して、誤字脱字等についてはもう一度修正を求めて、しっかりとした形で議会に出したいと思っております。（「ダンロップだけじゃないんです、特に前の案件のが、だから修正、チェックというか、確認というか、それはやはり受ける側としてどのように受けとめてやっているのかなという、はっきり言って疑問が残ってしまうわけです。出されたからそのままですよ、あくまでそういう趣旨でいくものなのか。だから確認してっ言っているだけなの。もう一つ」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） 町長。

町長（相澤清一君） 基本的に、こういうプレゼン等の資料をもらったときに、業者がプレゼンテーションした内容に大きく変わる場合はしませんけれども、やはり誤字脱字、またちょっとした積算の根拠、そのようなことに気づいたときは、相手側にしっかりとそのような指導をして訂正をしてもらって、そのような形ですすめるというのが基本だと思っています。

議長（大橋昭太郎君） 吉田議員。

1番（吉田眞悦君） では、まずそのようにするというこのようですので、これからもあるかもしれないので。

あともう一つの確認は、スイミングだけじゃないけれども、スポーツ施設全般にわたってしまうことなだけで、結局学校の授業や試合とかそういう子供たちの使用に関するものというのがおいにあるんですね。なんですよ。ですから、それが指定管理としてPRいっぱいしてもらうのは大いに結構で、利用率を高めてもらうのは当然、誰もだめだという人はいないと思うんですが、その調整については町と指定管理を受けた側の調整についての町のかかわりは、どのようにしていくつもりなのかと。

議長（大橋昭太郎君） 高橋課長補佐。

まちづくり推進課課長補佐（高橋憲彦君） 各施設の利用の状況につきましては、今現在体育協会さんで指定管理を受けていただいている中では、体育協会さんが主体となって各利用する団体、個人はもちろんですけれども、調整をしていただいています。ある意味、先ほど来お話に出ていましたが、体育協会さんの実績というところ言えば、やはり今までは地元密着の体育協会さんが、各個人の団体との調整は十分に有効にやっていただいていたと思っています。

さらには、法人利用についてもその都度細やかな対応をして、個人利用に対するお客さんに対しても十分な説明をしていただきながら、調整をしていただいていると思っております。

今回につきましては、先ほどのスポーツ施設については体育協会さんがそのままやっていたとということですので、そういった部分についてはこちらとしても安心しているところですが、今回スイミングセンターについては別な業者さんになってしまうということがございます。ただ、やはりこれまでも、体育協会さんとも毎月1回必ず調整会議というものをさせていただいております。そこで、今回の提案でもダンロップさんからもお話がございましたが、地元の体育協会さんとの協力というのは必ずやっていかなきゃいけないということも、お話しはいただいておりますので、そういったところで団体の利用がもしあれば、こういったことは必要であるかと思えます。

なおさら、学校との利用の調整、そちらはこれまで体協さんがやっていただいたやり方を踏襲させていただいて、まちづくり推進課と学校の教育委員会と連絡を密にしてやっていこうと思っておりますので、そちらはそういった考えでございます。

1番（吉田眞悦君） 要するに、特に共有関係で使う部分ということについては、部活も何もみんな出てくるんですね、授業だけじゃなくて、各施設の。そういうものについてきちっと町として出していかないと、体育協会さんとうまくやっていたって言ったって、これからまた相手が別な方も入ってくるわけだから、その部分についてきちっと対応しますという答えをいただければそれでいいのだから、こっちで要求した答えを出してって言っているわけじゃないのだから。そのとおりでしょう。（「はい」の声あり）

議長（大橋昭太郎君） ほかにございますか。（「なし」の声あり）よろしいですか。

以上で、町長からの説明及び意見を求める事項について終わります。御苦労さまでした。

続きまして、その他に入ります。

その他の1点目は、8月いっぱいまでということで宮城県知事に対する令和2年度の町村振興対策要望事項については、上がってきておりませんが、提出日が9月20日なものですから、もしあるとすれば早い段階で事務局に提出していただきたいと思えます。もう一点は、先日も言いましたが、10月13日、会津美里町のワイン祭りについて、もし私を通して申し込みたい人は申し出てください。（「議長、行くの」の声あり）はい。

それでは、続きまして、局長からお願いいたします。

事務局長（佐藤俊幸君） 3つお話がございます。

1つはぎょうせい出版社の自治六法、新しいやつができたそうで、御希望の方は事務局を通

して後ほど。事務局にお申し出ください。

2つ目です。全国町村議会議員互助会、全員じゃないんですけども、御加入いただいて、その還付金があるそうですので、終わりましたら高橋君から還付金のお渡しをいたします。

3点目です。これまで、案内とか何も話が出ていないんですが、町民グラウンドゴルフ大会、これ議会チームがまた出場していただくようになるかと思っておりますので、今分科会中にそれぞれ常任委員会3人ずつでしたか、選手の選出をよろしく願います。（「これとワイン祭り翌日ですか」「翌日です」「14日」「まだ正式には来ていないんだよね」「そうなんですか」「正式には来ていないんだけど例年であればその日になる」「毎年のとおり、各常任委員会からの選抜で」「3人ずつ」「常任委員長さん方よろしく願います」の声あり）

以上です。

議長（大橋昭太郎君） 皆様からほかに何かございませんか。（「ありません」の声あり）

これをもちまして全員協議会を終了します。

それでは、副議長、お願いいたします。

副議長（我妻 薫君） 大変御苦労さまでございました。きょう提案された全協の内容は追加議案でしっかりと議論していただくと。これから、明日から、その前に決算の審査が入りますので、よろしく願います。

以上で全員協議会を終わります。

午後4時41分 閉会